



新任職員紹介

私は体を動かすことが好きなので、子どもたちと一緒に体を動かしながらコミュニケーションをとり、積極的に子どもたちと関わり、少しでも早く子どもたちと信頼関係を築いていきたいと思っています。子どもたちと共に笑い共に泣き、子どもたちの小さな変化にも気づくことが出来る保育士になりたいと思っています。

日々子どもたちの成長を見守りながら、私自身も成長していきたいと思っています。自分にできることを精一杯努力し頑張りますので、よろしくお願いいたします。

保育士 津内未来



私は子どもたちと関わり、共に笑顔になれる仕事に就きたいという思いを抱いていました。若松園では子どもたちと共に笑い、楽しむ時間を共有できたなら良いなと思っています。また、子どもたちと過ごしていく中で子どもたちのことを知っていく、寄り添い見守ることができる職員を目指したいです。

新しい環境で不安もありますが、先輩職員の方々にご指導をいただきながら精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

保育士 森木あかり



この度、若松園の職員として働かせていただくことになりました。高校生の頃から施設で働くことに憧れ、今は嬉しい気持ちでいっぱいです。

私は趣味がとて多く、色々なことに興味があります。スポーツや読書も好きなので、子どもたちと何かに打ち込む「楽しさ」を共有していきたいです。自分の興味が子どもたちの興味にも繋がってほしいなと思っています。

新しい環境で少し緊張と不安がありますが、先輩職員の方々からのご指導を下に子どもたちが良い環境で生活できるよう支えていこうと思います。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

児童指導員 新田千夏



昨年まで4年間、幼児教育を専門に学んできました。実習等を通して子どもたちにより近い環境で働きたいと考えるようになり、この度、若松園で働かせていただくことになりました。

私は写真を撮ることと体を動かすことがとても好きなので、子どもたちの日常を写真や映像で記録したり、子どもたちと一緒にスポーツ等をしたと思っています。楽しいことが大好きなので子どもたちと好きなことを一緒に楽しめたらいいなと思っています。常に多角的に考えることを意識し、子どもと共に私自身も成長できるよう精一杯尽力します。どうぞよろしくお願いいたします。

児童指導員 野尻紗希



私の趣味は料理をすることです。子どもたちとご飯を作ったり、食べたりしながら楽しく過ごしていきたいです。

生活する中で様々な体験を通し、子どもたちとの関係を築きながら共に成長していける職員になりたいです。

初めてのことでばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、園長先生をはじめ先輩職員の方々からのご指導をいただきながら、子どもたちからも学び、ともに成長していきたいと思っています。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

児童指導員 草加真利奈



4月から若松園の職員として働かせていただくことになりました。

私の趣味は楽器演奏と工作です。自分の得意なことを、子どもたちの『やってみよう』や『楽しい』に活かし、子どもたちの成長に関わっていきたいと思っています。私自身も子どもたちや先輩職員の方々とは過ごす中で、色々な経験を積み重ねながら、学び続ける姿勢を忘れず、成長していきたいと思っています。

新しい環境の中で慣れないことも多く、知識や経験も少ないため、皆様にはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、精一杯努力し、少しでも早く子どもたちや先輩職員の方々から信頼していただける存在になれるよう頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

児童指導員 高見風沙



私は島根県大田市という、とても田舎で生まれ育ち、その後は13年ほど京都に住んでいました。岡山には15年ほど前から住んでいます。精神保健福祉士の資格を取得し、念願だった子どもとその家族の相談支援の仕事をする事になりました。

子どもを中心に、大人として何が出来るか、他の職員の方々と共に考え、行動し、頑張っていきたいと思っています。趣味は野球をはじめスポーツ観戦が大好きです。好きな食べ物は、辛い物、緑色の野菜全般です。苦手な物の一つに虫があるので、若松園で克服していきたいと思っています。宜しくお願いします。

相談支援職員 北條直子



かえでの家



かえでの家は園内にある小規模ホームです。6名の子どもたちが毎日賑やかに生活しています。

小規模ホームなのでより家庭的な環境で、子どもと職員と一緒に掃除をしたりご飯作りをしたり生活の中で自立する力を身に付けています。子どもたちは公文に行っている子もいたり、ピアノを習っている子もいたり、日々色々なことに取り組んでいます。

かえでの家で大切にしていることは、①子どもが主役②思いやりの気持ちを大切に③生活を通して自立への力をということの3つです。子どもが安心して過ごせるように、思いやりの気持ちを育み、一緒に家事洗濯をする中で自立するために必要な力を身に付けることが出来るようになってほしいと思っています。

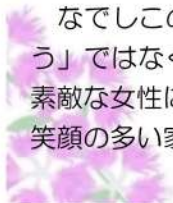


なでしこの家

なでしこの家は地域の小規模ホームです。地域の方々に見守られながら、個性豊かな子どもたち6名と毎日賑やかに(やかましく?)楽しく生活をしています。

本園との違いとして、食事作りや直接地域の方や外部の方との交流・やり取りがあることが挙げられます。食事は買い物から自分たちでしており、子どもたちも一緒に作ったり、子どもだけで作ることもあります。電話や郵便などの外部対応も声を少し高めに出してやってくれるなど、メキメキと女子力を上げてきています。

なでしこの子どもたちには女子力だけでなく、「私じゃなくて誰かがやればいい」「誰かがしてくれるだろう」ではなく、周りを見て気づいて動く・困っている子がいたら手伝ってあげようという思いやりの心を持てる素敵な女性になってほしいと思っています。そして、みんなで力を合わせて『みんなで作る一つの家』を目指し、笑顔の多い家になりたいと思います。



けやきの家



けやきの家は2015年から地域での生活を開始しています。現在は男児6名と職員3名、非常勤職員1名で生活しています。本園との違いとして、日々の食事はメニューなどホーム職員が考えて作っています。調理をホーム内で行うため、子どもたちが調理を手伝ったり、作ったりする経験も多いです。

子どもたちはサッカー部や溶接部、ロボット研究会などそれぞれ興味、関心のあるスポーツ少年団や部活動に所属しており、目標をもって取り組んでいます。スポーツ少年団や地域の子どもの会の活動に参加し地域社会の中で活動することもあり、生活の中で職員が教えられること以外に、地域の中で施設とは関係のない大人との関わりや子ども同士の積み重ねられた経験は子どもたちを大きく成長させていると思います。

卒園し社会人、大学生となった子どもたちが、けやきの家に立ち寄ってくれることもあり、自分が経験したこと、失敗したことなども含め今いる子どもたちに教えてくれます。卒園児の話も参考にしながら、中高生になると進路を決め、卒園に向けてアルバイトをしたりします。

今年度も地域の中で子どもそれぞれの思いや考え、したいことを大事にし、よりよい進路に進めるようなホームにしていきたいと思っています。

